

平成11年度事業計画

教育振興財団

福武教育振興財団は、平成11年3月19日の理事会で、平成11年度の事業計画を決めた。

《基本方針》

平成11年度は、平成10年度の方針を継承し、平成10年度に始めた新しい試みを発展的に続けるとともに、「岡山県の教育」に対する更なる支援の拡大を目指して、これまでの事業の見直しを図り、新たな取り組みを積極的に推進する。

特定公益増進法人になって二年目を迎える年度のため、財政基盤の強化を図り財団設立の目的である岡山県の教育の発展のため一層努力を傾注する。

《主な事業と内容》

1 表彰関係事業

● 福武哲彦教育賞
県・市町村教育長等の推薦により、教育の研究と実践に著大な業績を上げている教育者又は団体に贈る。副賞五十万円及び記念メダル。総額百五十万円。

2 助成関係事業

ア 教育研究助成
教育の実践的研究を助成。総額八百万円に増額、一件の上限二十万円。
イ 図書助成
図書館の図書等購入費を助成する従来の図書助成の復活。総額三百八十万円、一件の上限十万円。

3 調査研究事業

ア 海外教育事情調査
今年第10回を迎え、定例の調査に加えて特別企画調査も実施する。
イ 県内教育事情調査
助成した学校園の教育実践の様子を訪問調査する。

4 広報・啓発事業

講演会、研究成果報告会、調査報告会等を開催する。



教育振興財団理事会

文化振興財団

福武文化振興財団は、平成11年3月19日の理事会で、平成11年度の事業計画を決めた。

《基本方針》

平成11年度は、前年度の成果を踏まえ、問題点を改善して助成事業の一層の充実に努める。また、「伝統文化についての調査研究」を進め、広報活動を一層充実させて、財団の設立目的の遂行に努める。

《主な事業と内容》

1 助成関係事業

ア 文化活動助成
イ 調査研究助成
地域文化にかかわる活動や調査研究をする団体や個人を助成する。総額一千万円に増額、一件の上限二十万円。

2 調査研究事業

ア 文化活動団体のリスト及び資料の収集
イ 文化活動団体の活動実態調査
前年度助成した団体の活動の様子を訪問調査する。

ウ 余暇・生涯学習研究
「余暇・生涯学習研究会」の一年間の調査研究の成果をまとめる。
エ 伝統文化についての調査研究
岡山県における伝統文化の実態を調査し、その保存、継承、後継者の育成等について検討する。

3 広報・啓発事業

ア 教育・文化講演会
教育振興財団と共催で年間二回開催する。
イ 文化関係助成報告会
活動成果の共有と情報交換の場として開催する。



文化振興財団理事会

(財)福武教育振興財団 平成11年度助成募集の概要

教育研究助成

- 目的**
教育方法及び教育内容等に関する実践的研究を助成し、主として学校教育の発展に資することを目的とします。
昨年度に引き続き今年度も課題研究を重視します。また、図書館助成は教育研究助成に含めることとします。
- 研究種別**
課題研究
① 郷土理解
② 環境教育
③ 個性を生かす教育
④ 地域及び家庭の教育力
⑤ いきいきとした読書活動
⑥ 授業に生きる学校図書館
⑦ 情報活用能力をつける学校図書館
⑧ 「生きる力をはぐくむ教育」への取り組み
⑨ どの子にも居場所のある学級・授業づくり
自由研究（上記以外）
- 応募資格**
岡山県下の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特殊教育諸学校、専門学校の教職員及び教育委員会の所轄に属する教育研究機関の職員及びこれに準ずるもので、個人またはグループ。
- 助成件数・助成額**
40件程度とし、総額は800万円。
(1件の上限は20万円)
※今年度は、教育研究助成の予算を増額しています。多くの方々からのご応募をお待ちしています。

図書助成 (要望の多い図書助成を復活!!)

- 目的**
図書館の図書等の充実による図書館利用の進展と読書活動の振興に資することを目的とします。
- 応募資格**
岡山県下の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特殊教育諸学校、専門学校。
原則として、次の各項目の一つ以上に該当する学校園を優先して助成します。
ア 僻地 イ 小規模 ウ 定時制
エ 新設 オ 災害等特別な事情
- 助成件数・助成額**
38件程度とし、総額は380万円。
(1件の上限は10万円)

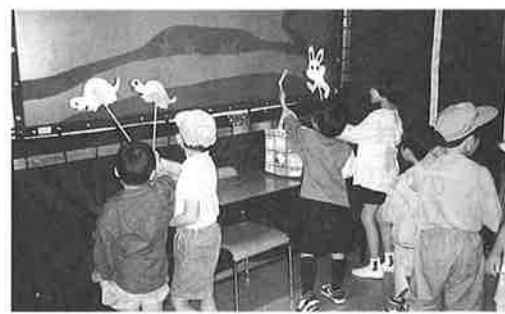
教育研究大会等助成

- 目的**
教育方法及び教育内容などの研究発表の場である教育研究大会等の開催を支援することにより、主として学校教育の発展に資することを目的とします。
 - 対象・助成額**
教育研究大会等を主催する教育研究団体を対象とし、助成額は原則として県大会10万円、中国四国大会15万円、全国大会20万円を上限とします。
- ◎ 応募方法…財団所定の申請書により応募してください。
◎ 締切…平成11年5月31日(当日消印有効)
◎ 審査・決定…審査委員会等で審査し、理事会で決定、6月下旬に通知します。
◎ 教育研究大会等助成は予算範囲内で随時受け付けます。

こんにちは 夢と感動をのせて

「灘崎かげっこ」
代表 畠山良子

「灘崎かげっこ」は、十名のメンバーが、手作りの影絵作品を通してボランティア活動を続けておられます。桜花満開のころ、JR宇野線迫川駅近くの製作現場にお邪魔しました。影絵は、黒い紙を切り抜いて、カラーセロハンを張り、OHPに投影させます。動きと色彩、光を組み合わせることで、より幻想的な世界ができていきます。後で、シナリオも音楽も手作りとお聞きして、本当に驚きました。そのうえ、舞台裏では一人何役もこなし、見事な場面展開も、臨場感あふれる効果音も、わずか十人のメンバーが生で演



こどもたちに影絵を指導することもあります